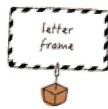


市民のこえ



● 未っ子やはたちの集いに参加させていたいただきました。開催に携わった皆さんに感謝します。いつの時も若い方々の様子や成長、活躍の姿は頼を緩ませながら見えています。(PN ギュミ 50代)

▼ 投稿ありがとうございます。はたちの集いの会場には、多くの保護者の

3月号の記事で、特に良かった記事・分かりにくかった記事があれば教えてください。

良かった：
分かりにくかった：

ご協力ありがとうございます。
ございました。

姿がありました。自分たちの頃は、会場に来ていた保護者の姿は僅かだったことを記憶しています。家族や、久々に再会する友人たちと語り、写真を撮り合う姿に私も頼が緩んでしまいました。

● 市内のさまざまな出来事が掲載されていて、楽しみながら読んでいます。残念ながら教え子たちのはたちの集いに行けなかったのも、写真を通して成長した姿を見ることができ、嬉しくなりました。頑張っているなあとお元気をいただきました。(PN まるる 60代)

▼ 投稿ありがとうございます。教え子の皆さんが参加されていたのなら、格別の喜びかと思えます。教えを糧に、皆さんがこれから益々活躍していくと思つて、嬉しさがあふれますね！

● 青山学院大学の野村昭夢選手
の走りに感動をもらったお正月
テレビにかぶりつくように見てい
ました。市報でも紹介されていて
あの時の興奮を思い出しました。
(PN 匿名希望 70代以上)

▼ 投稿ありがとうございます。私
も、かぶりついて見ていました！
今月号でも少しですが紹介してい
ますのでぜひご覧ください！

サロンに行こや 《第22回/隔月掲載》

コスモスサロン (有明町)
肆部合連合公民館 / 毎月第4木曜日



どんなサロンですか？

令和6年から名称をコスモスサロンに変更し、毎回10名前後の参加者と、ボランティアの方々と一緒にレクリエーションなど、楽しく活動しています。

今回のサロンの内容は？

災害発生時、まずは自分の身は自分で守ることを想定し、非常食づくりを学びました。缶詰など長期保存が可能な食品を使ったレシピやみそ玉づくり、ガスコンロでの炊飯方法などを確認できました。

単身の方などが集まって気軽に話せる場。参加者の笑顔が嬉しいです。



西久保 京子さん

志布志市社会福祉協議会では、市内50カ所以上で開催しているサロン活動を支援しています。地域住民の方々(ボランティアなど)が、自宅から歩いて行ける公民館や集会所などに集い、おしゃべりや体操など「気軽に」「無理なく」「楽しく」参加されています。サロンに参加してみたい、サロンを立ち上げたい方など、詳しくは市社会福祉協議会(TEL 472-1800)までお問い合わせください。



大きくなあれ



投稿は
こちらから



きしかきちゃん(8カ月)
有明町野井倉



おたいちゃん(6歳)・ののちゃん(5歳)
有明町野井倉



りくたちゃん(3歳)
志布志町志布志

ご家族からのメッセージ！

いつもばばとままをたくさん笑わせてくれるちーちゃん♪最近のブームは、ティッシュを出すこととおもちゃを食べること！これからいろいろなところに出かけて、思い出をたくさんつくろうね♡すくすく元気に育ってね！

ご家族からのメッセージ！

好きなもの、興味があることをとことん追求するお兄ちゃん。家族みんなをよく見ていてフォローしてくれるしっかり者の、ののちゃん。2人のおかげで毎日楽しくて幸せです。ありがとう！

ご家族からのメッセージ！

お調子者でいつもみんなを笑顔にしてくれるりた。りたが産まれてから毎日が楽しくて、幸せです。みんなから愛されてこれからも元氣いっぱい笑顔いっぱい大きくなってね！大好きだよ♡

いのちを守る 住宅火災対策

市長コラム 下平 晴行

近年、住宅火災の発生件数が増加傾向にあります。「〇〇市で住宅火災」、「〇〇町で火の始末による火災」といった報道を目にする機会も多くなりました。なぜ今、住宅火災が多発しているのでしょうか。

主な原因は、①コンロの消し忘れ・調理中の油火災、②たばこの不始末、③電気機器のトラブル、④放火・放火の疑いなどがあります。この時期は空気の乾燥が続くため、火災発生時は火の回りが早く、死傷者も多くなっています。こうした住宅火災を防ぐために、私たちはどうすればいいのでしょうか。

ガスコンロや石油ストーブなど直接的に火を使う際は、火の取り扱いに細心の注意を払い、周辺に燃え広がりにくいものがないか確認を行う必要があります。たばこの不始末は、もつてのほかです。近年目立つ電気器

具に起因する火災ですが、コンセント周辺にはこりがたまっていないか、発火のおそれがあるスマートフォンやモバイルバッテリーなどを暖房器具の近くに置いていないかなど、一度立ち止まって、生活環境を再度見直してみることが私は大事だと考えます。

また、火災発生時の素早い周知、避難につながる「住宅用火災警報器」の設置も義務付けられていますので、警報器の設置、避難経路の確認も行いましょう。

住宅火災は、ちよつとした不注意や日頃の備えの不足から発生することがほとんどです。しかしながら、意識を変え、適切な対策をとることで、リスクを大幅に減らすことができます。

大切な家族や財産を守るために、今一度周りを見渡し、対策を見直してみませんか？